

所属・資格 国文学科・教授

申請者氏名 久米 依子

研究課題		近現代における少年少女向け文学の特質と諸問題の研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	日本近代で独特な発展を遂げた少年少女文学について、各時代の雑誌メディアやメディアミックスの様相も追いながら、同時代の文化状況とどのように関わりあいながら発展・深化したかを考察し、日本文化や教育制度との関連も分析する。
	研究の結果	少女文化に関しては、名古屋大学大学院人文研究科主催の国際シンポジウムにディスカッサントとして参加し、東アジア各国の少女文化の共通点と差異について検討し、認識を深めた。研究論文としては、ジェンダーを超えてクィアな現象を読み取れる近代文学の作品を取り上げ、その読みが開く可能性について展望した。また、戦前の日本の殖民地ハルピンが媒介した、著名な女性作家佐多稲子と女性漫画家上田とし子の関係を取り上げ、二人の作品の表現がポストコロニアルな視点を持ち得ているか、という問題を考察し論文化した。
	研究の考察・反省	従来の日本近代文学研究に不足していた、東アジアとの関係からの表象考察を、少女文化の表現については一歩進めることができたと思う。引き続き、年少者文化に関する諸問題を、国・地域ごとに異なる社会状況に留意しながら、東アジアの共通項目として分析し考察を進めていきたい。さらに、ジェンダーを超えた視点をもたらすクィアな現象・作品に対する考察も試みたが、そこにも少年少女文化との接点を見出すことができると考えているので、その点も今後の課題として、引き続き取り組んでいきたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>【研究発表】</p> <p>○国際シンポジウム「〈帝国〉日本をめぐる少女文化」ディスカッサント 月日：平成31年3月8日（金） 主催：名古屋大学大学院人文研究科 会場：名古屋大学 総司会：星野幸代氏（名古屋大学教授）、講演：濱田麻矢氏（神戸大学教授）韓承美氏（延世大学准教授） 飯田祐子氏（名古屋大学教授） 洪郁如氏（一橋大学教授）、ディスカッサント：久米 依子</p>	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>【研究論文(成果物)】</p> <p>○「クィア・セクシュアリティを読むことの可能性——谷崎潤一郎「秘密」から江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」へ」『昭和文学研究』(昭和文学会)77集 平成30年9月1日</p> <p>○「殖民地ハルピンと女性の表象——佐多稲子宛て上田家の書簡から」『日本近代文学館年誌』(日本近代文学館) 14号 平成31年3月20日</p>	